

お知らせ

INFORMATION

No.2022-29

2022 年 10 月

病体生理研究所

新規受託開始および受託中止のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当研究所をご利用いただきまして誠に有り難うございます。

この度、下記検査項目におきまして、新たに受託を開始させて頂くことになりましたので、ご案内申し上げます。また、下記検査項目については試薬販売中止の為、検査の受付を中止させていただきます。

何卒、ご了解賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

【新規受託項目について】

- ◆ アスペルギルス抗体 IgG [38013] …検査実施施設 S
※項目情報裏面参照

《受託開始日》：2022 年 10 月 31 日（月）受付分より

【検査中止項目】

- ◆ アスペルギルス抗体 [11346] …検査案内P.69 検査実施施設 S

《最終受付日》：2022 年 10 月 29 日（土）受付分まで

【新規項目情報】

項目名称	アスペルギルス抗体 IgG
コード	38013
検体材料	血清 0.3mL
保存	冷蔵(28 日)
検査方法	ELISA
基準値 単位	判 定：(－) ※判定基準下記参照 アスペルギルス IgG：5.0 未満 AU/mL
報告範囲	(－)、判定保留、(+) 1.4 未満、1.4～79、80 以上 AU/mL
所要日数	3～6 日
実施料	未収載

【判定基準】

AU/mL	判定
5.0 未満	(－)
5.0～9.9	判定保留
10 以上	(+)

【ELISA 法とオクタロニー法との相関一致率】

		オクタロニー	
		(－)	(+)
ELISA	(－)	20	7
	(+)	0	38

一致率：89.2%(n=65)

アスペルギルス症の診断補助に有用な検査です。

アスペルギルス症は、侵襲性肺アスペルギルス症 (IPA)、慢性肺アスペルギルス症 (CPA)、アレルギー性気管支肺アスペルギルス症 (ABPA) の病型に大別されます。感染症としての IPA と CPA では下気道検体からの培養検査が確定診断となります。血清学診断では β -D グルカン (GM) 抗原は IPA の診断には有用ですが、CPA に対しては感度が低いことが報告されています。抗体検査には CF 法、沈降反応、ELISA 法などがあり、CPA では GM 抗原に比べ有用性が高いことが報告されています。ABPA の診断にも特異的 IgG の検出が有用とされています。

(Rosenberg 診断基準)。

参考文献： Dumollard C, et al：J Clin Microbiol 54 (5)：1236～1242, 2016. (臨床的意義参考文献)

以上